

町長答弁 「検討する」の 事後確認を



原口博光議員

ケースが考えられるので、よく検討し結論が出た件については、その都度事務局に報告できるように努力する。

ペイオフ解禁にと もない安全な公金 管理を

原口議員

質問に対し、答弁が「検討する」で終わっている。その結果を事後確認又は、追跡する意味で次の議会まで口頭又は、文書で事務局か質問した議員に回答できないか。

結論が出た件は、 その都度報告した い

町長

検討した結果については、予算をおし処理されたものも数多く、そのときの状況、時期、予算及びサービス等により、できなかつたものもあるように思われる。様々な

収入役

公金の管理運用については、効率に重点をおいた運用を行ってきたが、ペイオフ解禁後は、安全に重点をおいた運用をしなければと考える。

そのために、ペイオフ対策会議等を、十四年の中ごろまでに設置し、基金等の運用とその方法、預金の種類等を検討したい。

学校評議員制度の 導入は

原口議員

この制度は、地域、家庭のより密接な連携による新たな学校作りを図る目的で国が準備を進めてきたもので、学校評議員をおして保護者や地域の意見を幅広く聞き学校

運営に反映させることができる。
この制度を導入する考えはないか。

平成十五年度から 導入したい

教育長

平成十二年「学校評議員制度」が設けられ三年目になる。鹿児島県内では、県立高校は十三年度から、小・中学校では、現在十一市町で実施している。特色ある活動を展開するうえからも優れた制度であり、本町でも学校管理規則の改正、予算面を含めて平成十五年度からの導入を考えている。

前町長の名誉町民 への選定は

原口議員

健康で豊かな活力ある大崎町の創造を基本施策として数多くのプロジェクトを立ち上げ健全財政を保ちながら着実に諸事

業を推進されこの政治的手腕と業績は、町民に高く評価されている。
名誉町民条例の定義にのっとって、前町長を名誉町民にすべきであると思うが、いつの時点で推挙するのか。

早い時期に提案

町長

名誉町民は、公共の福祉を増進、産業文化の進展に寄与、社会の進歩進展に貢献し町民の尊敬の的と仰がれるものに称号を贈ることになっている。貴重なご意見を聞かせていただいたので、できるだけ早い時期に提案できるように準備をすすめる。

鶏肉偽装事件について どう思うか

原口議員

鹿児島くみあいチキンフーズが中国・タイ産を鹿児島県産と偽って販売

された事件で農協グループ系列までがと、消費者や飼育農家に大きな衝撃を与えた。
ブローラーの町大崎町のトップとして所見は。



大きな衝撃を受けて いる

町長

鹿児島くみあいチキンフーズは、利益や効率性だけを追求する考えを優先させていたとしか考えられない。本町には、ジャパンファームという企業があり、営業上、大きな支障がなければよいがと心配した。安全と安心の源であるJA系列でやっていたことは、消費者の心を欺く行為で許されることではない。